

活動成果報告書

平成29年度（第21回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

「赤ちゃんが来る!!～もうすぐパパになるあなたへ～」
～プレパパ向け育児応援動画の作成と今後の展望～

応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名）

練馬区役所 健康部 北保健相談所

代表者：細野 真央

勤務先：練馬区役所

所 属：健康部 北保健相談所

所在地：〒179-0081

東京都練馬区北町8-2-11

TEL：03-3931-1347

FAX：03-3931-0851



◇活動方針

急速な少子化の進行を踏まえ、次代を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を図るため、そして次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進するため、わが国では平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が公布された。これにより、保護者が子育てに対する第一義的な責任を有するという基本的認識はそのままに、家庭やその他の場においても子育ての意義について理解を深め、かつ、子育てに伴う喜びを実感できるよう施策を進めることが自治体にも取組を求められたところである。

練馬区においても、妊娠期からの継続した子育て支援や仕事と家庭の両立支援、地域における子育て支援等、様々な取組を進めている。その一環で区内に6か所ある保健相談所では妊娠期からの子育て支援として、妊娠期の夫婦を対象とした両親学級「パパとママの準備教室」を実施しており、この中で一部の保健相談所は、育児支援団体の協力で先輩パパたちの体験談をライブで実施していた。ライブで行われている先輩パパたちの体験談は参加者のリアルな共感を呼び、反響も大きかった。このため育児応援の効果をさらに上げようと、先輩パパの体験談・メッセージを全てのプレパパに届ける育児応援動画の作成に至った。また、地域で子育てを支える体制の構築を目指し、動画の作成では地域活動団体や助産師会の協力を得ながら進めた。

◇活動内容とその成果

1 活動内容

(1) 動画の制作

映像制作は委託とし、プロポーザル方式により委託業者を選定した。

活動成果報告書

(2) シナリオの作成と動画の構成

区のコンセプトから業者が作成したシナリオを原案に、保健師と業者で繰返し議論し、シナリオの作成を行った。

動画は「オープニング」、「妊娠編」、「出産編」、「育児編」、「遊び場編」、「エンディング」の6部構成で、アニメーションと実写を組み合わせた映像とした。各チャプターに先輩パパの体験談を入れつつ、母親と子どもの身体や母親のこころの変化は公益社団法人東京都助産師会練馬地区分会（以下、練馬助産師会）の監修協力を得て、ナレーションと助産師の話でまとめた。

また、聴覚障害者向けに映像に合ったシナリオを作成し、区のホームページに掲載した。

(3) 撮影

先輩パパの体験談と助産師の話は、地域活動団体である練馬イクメンパパプロジェクト（通称 ねりパパ）と練馬助産師会に出演を依頼し、地域資源を活用して、区立施設や都立公園で撮影を実施した。

(4) 成果品

動画タイトル「赤ちゃんが来る!!～もうすぐパパになるあなたへ～」全編 25分 33秒

(5) 全体の構成

①オープニング（2分9秒）

先輩パパの体験談「あなたのパパスイッチがONになったのはいつ？」を収録した。

②妊娠編（9分5秒）

胎児のエコー映像、「ママのこころとからだについて」助産師の解説と、「つわりの頃の生活」「妻が安定期に入って」等の先輩パパの体験談を収録した。

③出産編（4分19秒）

実際の出産シーンを映像で取入れ、「産前から出産までのママのこころとからだについて」助産師の解説と、先輩パパの体験談「いよいよ出産!」「赤ちゃんのご対面」を収録した。

④成長編（6分9秒）

産後のママのこころとからだについて」助産師の解説と、「子どもが生まれて～パパにできること～」等先輩パパの体験談を収録した。併せて、新生児期から4か月までの赤ちゃんの様子、保健相談所の事業、電話相談を紹介した。

⑤遊び場編（1分12秒）

区内の子育てのひろば、外遊びの場を紹介した。

⑥エンディング（2分28秒）

先輩パパの体験談「パパになって良かったこと」を収録した。



図1 先輩パパの体験談の様子



図2 出産シーン



図3 マタニティブルーズに関するイラスト

活動成果報告書

2 活動成果

(1) 動画およびDVDの活用と周知

作成した動画は6保健相談所のパパとママの準備教室で活用し、両親学級の充実を図った。また、事業に参加できない人への啓発のため、YouTubeの「練馬区公式チャンネル」で配信した。併せて、動画の視聴を広く促すため、チラシ、ポスターを作成し、母子手帳交付時や関係機関等へ周知した。この他趣旨普及のため、区内産科医療機関、助産院などへのDVDを配付した。



図4 チラシ・ポスター

(3) 動画の使用状況

- ①パパとママの準備教室で教材として使用（年間46講座）
- ②YouTube「練馬区公式チャンネル」での配信
一括再生版および分割再生版合計：35,590回
（平成30年1月4日現在）
- ③区内図書館、保健相談所でのDVDの貸し出し
- ④DVDを配付した区内協力医療機関、練馬助産師会では、待合で放映する等教材として使用している。



図5 YouTube「練馬区公式チャンネル」

◇今後の計画

今回プレパパをターゲットに育児応援動画を作成したことで、区内全ての保健相談所で、父親になる自覚をしばらく男性に向けて啓発を行う体制を整えることができた。また、男性だけでなくこれから母親になる女性に向けても、父親の思いや母親自身の妊娠期、産後のからだやこころの変化などを啓発することができた。

YouTubeでの動画配信は、事業に参加できないプレパパに対しても、身近なスマートフォンなどのツールを使用する啓発を可能にした。こうしたYouTubeを使用した動画配信により啓発事業は、今後様々な健康教育での応用も考えられる。

YouTubeで動画配信をした結果、再生回数が3万回を超えるなど、大きな反響があった。実際の出産シーンを映像で取入れたことや、出産時、子どもと初めて対面した時の先輩パパのリアルな体験談が視聴者の反響を呼んだと推測される。また、一括再生だけでなく動画を分割したことにより、隙間時間に手軽に見ることができたことも、若い世代へのアプローチに有効であった。

さらに今回特筆すべきことは、動画の作成において区内の育児支援団体や助産師会と協働することにより、区と協力して地域での子育てを応援する基盤作りを進められたことである。区内の医療機関に対しても、区の取組を周知することで協力を得ることができ、子育て支援の基盤を広げることができた。今後も新しい試みを加えながら区と医療機関、地域が協力して子育てを支えていく基盤作りを推進していく。